

道写協

北海道写真協会

事務局 ■札幌市中央区大通西3丁目6道新文化事業社内
011-210-5735(直通) 011-207-3939(FAX)
<http://www.dosyakyou.org/>

第131号

支部長会議(総会) 報告

5月15日(日)午前9時30分、北海道新聞社会議室で、平成28年度支部長会議(総会)が開催されました。会議は22支部長が参加、本郷正利会長から挨拶と1年間の総括が話され、道展の充実を掲げましたが、結果、道展の二重応募や部門違いの応募はかなり減少傾向になっております。「オホーツクの四季写真コンテスト」についても触れ、道写協としてもこの問題を真摯に受け止め、ホームページと会報で協会の考えと反省が述べられました。引き続き北海道新聞社事業センター・事業委員の若林直樹氏から、支部活動に対してのお礼と、北海道へ来る観光客と写真についての話がありました。その後、支部長及び役員のご紹介が行われ、議長に函館の松山浩司支部長が選出され議事に入りました。



支部長会議風景
本郷会長(中央)
武藤顧問(左側) 若林事業委員
福島道展事務局長

一、事業報告

①各委員会、会議報告

◎写真協会関係(大平事務局長)
役員会、企画委員会各4回開かれました。審査員の選考と審査会の課題、支部例会コンテストなどが審議されました。第63回写真道展審査委員長に奥野時夫氏(釧路)・第34回学生写真道展審査委員長に山下智氏(札幌)・招聘審査員に小松ひとみ氏(秋田)石津 聰氏(札幌)が選考されました。
◎写真道展関係(山下実行委員長)
年4回の定例実行委員会、進行係・審査係会議と第63回写真道展審査委員会議の開催と審議内容が報告されました。

②第63回写真道展報告(山下実行委員長)

公募の出品数は5、660点、出品者439名と6年連続5千台の応募数が維持され、入選率は4.8%で依然として難関です。入賞・入選点数270点、実質入選数は196名、内支部会員106名、女性は56名、初入選41名となりました。第34回学生写真道展の出品数1,132点、出品者414名でした。

③事業報告(大平事務局長)

第62回写真道展公募展は札幌(入館者2,607名)を皮切りに全道13会場で開催。「道写協会報」128/130号、3回発行。審査員の派遣3支部、年度賞楯の申請は13支部。学生写真道展広報活動は苫小牧南高校の協力のもと、苫小牧会場で実行委員が対応。また第34回学生道展展覧会(札幌)・表彰式は3月20日に盛大に開催されました。支部例会コンテスト(会報129号)に結果発表)支部長会議で、表彰授与されました。

二、決算報告(瀧野、阿部会務委員)

各支部の努力で新入会員33名と会員の減少は微少に止まりました。昨年指摘のあった支出項目の内訳欄をより詳細に掲載。写真道展への援助金として25万円入件費として計上。会計監査報告は川原監査委員より適正かつ正確に処理されている旨報告されました。

●主な質疑応答

Q1 会計報告の入件費で25万円の写真道展入件費とありますが、写真道展の入件費の足りない部分の補充と解釈するのでしょうか?
A1 監査からの指摘もあり次年度からは、繰入金と金として項目に入れることとします。
Q2 「オホーツクの四季写真コンテスト」経緯、対応についてもう少し詳細に説明が欲しい。
A2 会長から詳細な経緯と、その対応について顧問、三役道展を交えて話し合い、HPと会報で一般と会員向け協会の考えを発信し、ご理解を得たところです。



表彰式風景
授与: 山崎隆志顧問 道新文化事業社代表取締役社長
受賞: 小林正輔氏 第3部「ネイチャーフォト」1席 環境大臣賞 / 第63回写真道展大賞

三、事業計画(大平事務局長)

第63回写真道展(札幌)は道新ぎやらりー、DOBBOXにて開催中。以後14会場を巡回、審査員支部派遣(旅費)、支部年度賞は継続実施。第4回支部例会フォトコンテストの実施。第64回写真道展・第35回学生写真道展の応募受付は平成29年2月1日(10日)、審査は同年2月25日(26日)に行う予定です。

四、会計予算(瀧野、阿部会務委員)

①収入は、現道写協会員数を維持しつつ、新入会数35名を想定し364名としました。
②写真道展中間報告(奈良実行委員)
収入及び支出は順調に処理されています。

●主な質疑応答

(参考意見) 支部会員は6名ですが、作品集12冊頂いています。外の支部も作品集の販売に協力して下さい。
Q1 経費削減の折、記念展の年数を10年間隔でも良いのでは!
A1 会長から、記念展では高名な写真家を呼び審査委員を依頼をしています。5年に1度、中央で活躍している写真家を招聘することは、道展応募者への意識の向上、PRに繋がるものと確信しています。
Q2 審査員、会友との削減を工夫すべきではありません!
A2 ご指摘の通り支出の押さえはやっていかなければなりません。今後も無駄のない経費削減に努めていきます。
Q3 入選通知が同一地域でも到着にずれが生じ、かなりの混乱を招きました。その原因の解明は?
A3 中野副会長から到着に1週間の差があり、私たちが驚いています。通知作業は順調に終了しましたが、発送の日程に事務局とずれが生じ、配達に影響したかと思われれます。今後、このような事がおきないように、十分に注意致します。

五、写真道展審査員・会友の承認

①審査員承認(2名)

秋山寿子(札幌) 馬場和美(旭川)
坂本幸夫 香取征子 村上和子
荻田貞子(以上札幌) 佐藤俊晴(室蘭)
壬生賢哉(苫小牧) 中川ミエ子(釧路)
森川行雄(芦別) 伊藤勝利(旭川)

②表彰者 感謝状 金子勝彦(余市)

審査員退会 大和俊行(函館) 高橋 正(芦別)
会友退会 澤田孝夫 稲葉幡男(以上追分)
中尾紀子(苫小牧)

六、審査員・会友の変更

全道各地で順次、巡回展開催の予定です。

七、写真展巡回展日程(福田会務委員)

①作品集検討委員会の設置

これからの写真道展作品集の装丁、掲載内容、価格、販売販路など全てにおいて検討するため、委員会の設置をします。ご理解とご協力をお願いします。
②作品集のバックナンバーの在庫一掃計画について
作品集の在庫・詳細は、
e-mail smor@vega.ocn.jp

担当 森 哲までメールお待ちしております。

松山議長退任挨拶で支部長会議は終了しました。支部長会議(総会)がスムーズに滞りなく進行されましたことに感謝申し上げます。(文責 森 哲)